



図書館本館再整備



基本設計 市民説明会

- ・7/4(木) 19:00 関戸公民館にて
- ・7/8(月) 19:00 消費生活センターにて
- ・7/13(土) 14:00 図書館本館にて

●本日の流れ

- あいさつ、事業概要 ……10分
- 設計内容の説明 ……35分
- 質疑応答 ……45分

●これまでの経緯

- ・平成29(2017)年3月 図書館本館再構築基本構想の策定

「知の地域創造」のための図書館

- ・平成30(2018)年1月 建設予定地の決定

多摩中央公園北西角地(約4,400m²)

- ・平成30(2018)年8月 図書館本館再整備基本計画の策定

敷地・施設・資料・運営管理の各計画

- ・平成31(2019)年2月～ 基本設計の着手

- ・平成31(2019)年4～6月 基本設計ワークショップの開催

●「知の地域創造」の実現に向けて①

①地域社会を支える豊富な資料群

【基本設計における主な考慮点】

●図書館の基本機能である開架資料・席数の充実

開架冊数	現本館	中央館(収容能力) 【計画値】	中央館(収容能力) 【設計値】
	10.5万冊	25～30万冊	25～30万冊

席数	現本館	中央館 【計画値】	中央館 【設計値】
	250席	500席	500～600席

●分館・学校図書館を支えるバックヤード(閉架書庫)の充実

閉架冊数	現本館	中央館(収容能力) 【計画値】	中央館(収容能力) 【設計値】
	23万冊	30万冊	30～40万冊

●「知の地域創造」の実現に向けて②

②多様な出合いや交流の機会を創出

本・情報・ひとに出会い、市民が主体的に交流する機会と場を提供

【基本設計における主な考慮点】

●本や情報を通じた学びと交流を実現する広場スペース

おはなし室やくつぬぎ室、授乳室など、子どもエリアの充実
子どもエリアと大人エリアを近接させ、親子利用がしやすい開架
カフェや屋根付きのテラスで飲食しながら読書
公園の緑が感じられる雰囲気づくり
多様な集会に対応できる市民活動室
おしゃべりしやすい雰囲気づくり
静かな環境で読書ができる場所の確保



●市民活動の拠点(パートナーズスペース)

ボランティアの方々の拠点となる場を整備
ボランティアが活躍する市民協働スペースの充実

●「知の地域創造」の実現に向けて③

③課題解決型の支援

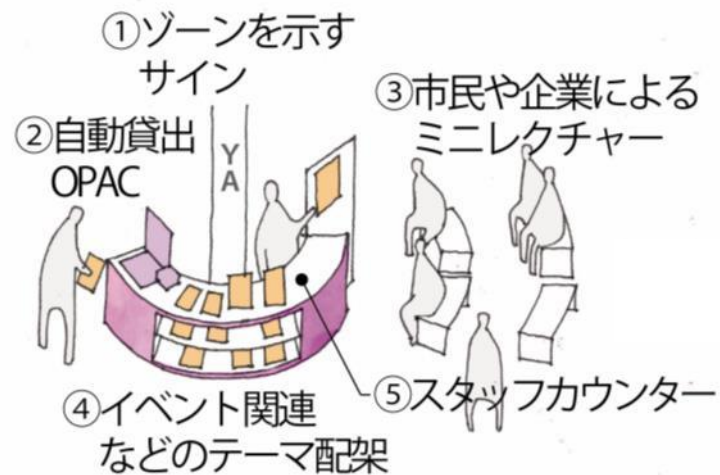
市民一人ひとりの「知る」を支援



【基本設計における主な考慮点】

●サテライトカウンターの分散配置

レファレンスサービスの充実
企画展示の充実
ミニ講座等の開催



●時代に即した新たな機能

ラーニングコモンズの整備
無線WiFiの整備
インターネットPC、データベースPCの充実



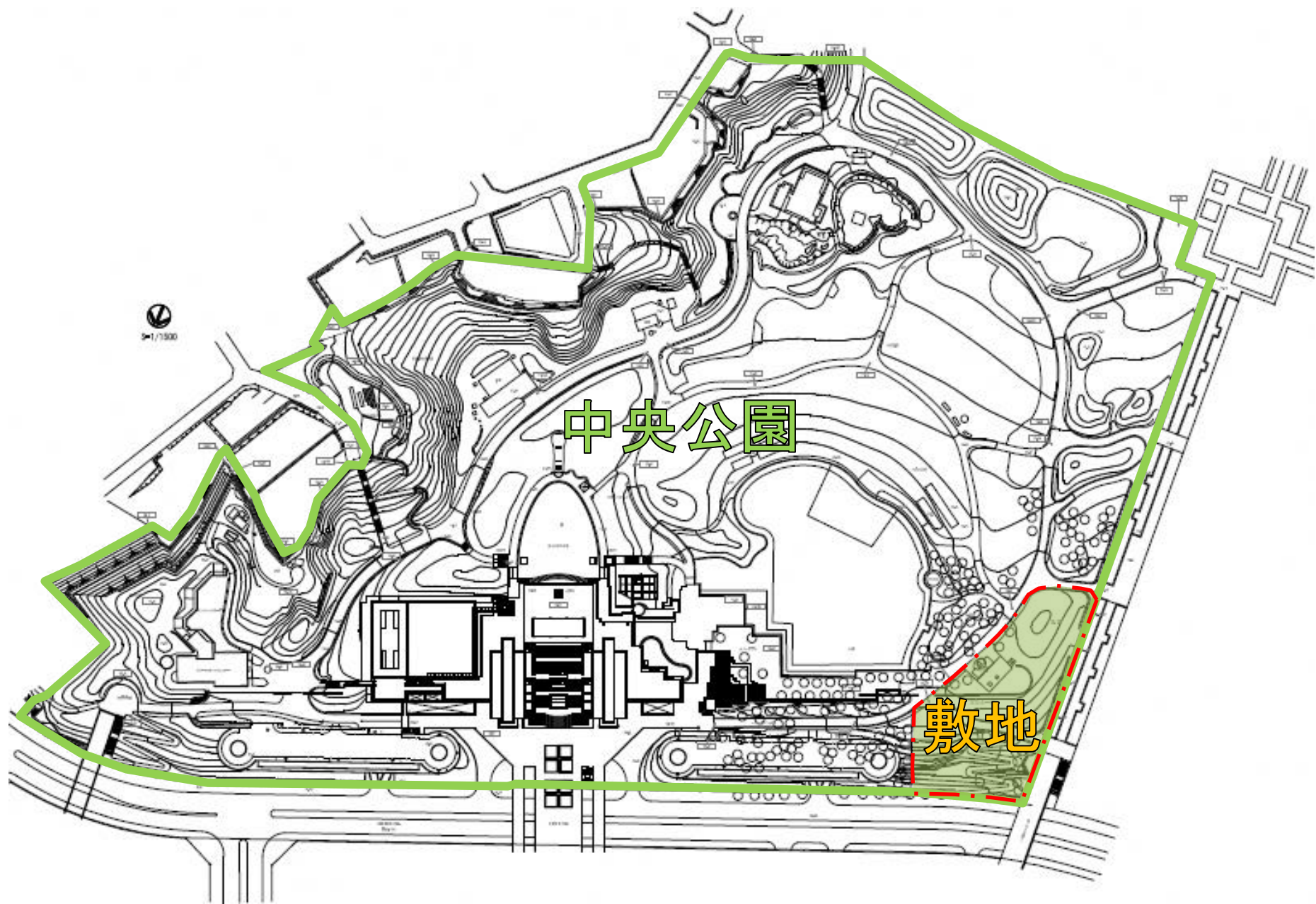
● 今後のスケジュール

H28(2016)年度				H29(2017)年度				H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
基本構想 策定								基本計画 策定				基本・実施設計				建築工事				開館 準備		○開館					

- ・基本設計 令和元(2019)年7月末に完了する予定
- ・実施設計 令和元(2019)年8月～令和2(2020)年3月(予定)
- ・(仮称)中央図書館の運営や使い方に関する市民ワークショップ
令和元(2019)年秋以降の開催に向けて準備中

設計内容の説明

● 図書館が建つ場所



● ワークショップ

全3回の日程で開催

1 回目

2019 **4/13** **土**

フィールドワーク

敷地をみよう

時間：9:30～12:00
場所：パルテノン多摩
特別展示室



2 回目

2019 **5/11** **土**

Think

図書館でどんなことが
したいか考えよう

時間：9:45～12:15
場所：図書館本館
閲覧室



3 回目

2019 **6/8** **土**

Design

図面と模型をみよう

時間：9:45～12:15
場所：図書館本館
閲覧室



ワークショップ(第1回目のまとめ)

多摩市立図書館本館再整備

第1回 設計ワークショップ[まとめ]

2019 4/13(土)

フィールドワーク 敷地をみよう

グループA

- ・大池周辺の芝の活動が図書館から見えるようにしたい。(トンボなど生き物の活動も見たい)
- ・大池周辺を上から見下ろせるようなテラスがあると良い。
- ・図書館へはレンガ坂や大池周辺の芝生広場、道路と面する3か所からは出入りがほしい。
- ・敷地東側の樹木を間引いて、視線が抜けるようにしたい。
- ・計画する建物は周辺環境に溶け込むようなものが良い。
- ・バルテノンから図書館まで雨に濡れずアクセスしたい。

【他グループからの質問】

- ・敷地と周辺とのつながりについて意見はありましたか？
→移動カフェなどを用いて周辺環境を活用する案が出た。
- ・ICT活用についてどのように考えていますか？
→今後の検討の中でICT活用を考えていく。(市職員)



グループB

- ・公園側から見たときの建物の高さを小さくしてほしい。
- ・駐車場を確保してほしい。(敷地内が無理なら、バルテノン駐車場の無料券を図書館利用者に配布しても良い。)
- ・雨の日は、駐車場からも濡れずに建物に入りたい。
- ・図書館から、公園の池への眺望を確保したい。
- 木を間引く→緑陰読書スペースに活用
- ・敷地南の芝の小山で青空読み聞かせをしたい。
- ・公園に気軽に本を持ち出して外で読書したい。
- 自動貸出し機でスムーズに貸し出し手続きをする。
- ・敷地内のスロープは使われていないのでいい。
- ・施設内でお弁当を食べられるスペースがあれば、ゆっくり滞在できる。

【他グループからの質問】

- ・図書館の名前について意見はありましたか？
→「名前負け」ということもあるから、名付けについては慎重でありたい



グループC

- ・大池をぐるっと回ってから敷地へ入るルートで回った。
- ・バルテノン多摩にあるような機能と図書館に入る機能は重複しないようにしたい。
- ・公園の良いところが図書館からも見えると良い。
- ・図書館へは色々な方向からアクセスしたい。
- ・図書館の中では静かな空間だけでなく、色々な年齢層の方が楽しめる空間がほしい。

【他グループからの質問】

- ・バルテノン多摩との機能重複について
→自動演奏楽器の部屋はバルテノンに、子どもの学習室などは図書館へ移行するなど。
カフェはどちらにあってもいいかも。
- ・若い方の意見はありますか？
→図書館の中に勉強できる部屋がほしい。



グループD

- ・公園は人々が自由に活動できる場で、人々が主役となる。それを支える器が公園なので、その外周の作り方は重要。
- ・噴水前は皆がベンチに座って過ごしていて良い雰囲気。
- ・既存のベンチも壊れているから新しくするのはなく、年月を経たものを大事にするのが良い。
- ・バルテノン、駐車場と図書館が連続することで壁のようになってはいけない。
- ・緑の中に埋もれるような低層の図書館、また、図書館から広場や緑、外の景色が見えるような図書館が良い。
- ・樹木は伐採しても良いが大切な木は残す。
- ・駅から雨に濡れずにアプローチできると良い。
- ・隣の駐車場からも雨に濡れずに入ることができると良い。
- ・目の前にバス停がほしい。



グループE

- ・駐車場からアクセスが近いと良い、雨に濡れず行きたい。
- ・樹木はなるべく残すべき。
- ・バリアフリーや子どもが使いやすい図書館が良い。(ベビーカーや車イスが使いやすい配慮、子ども向けのフロアなど)
- ・駐輪場を十分確保して欲しい。(レンガ坂側)
- ・公園と一体的に使える図書館が良い。(おはなし会など)
- ・敷地が狭いが、中央館にふさわしい図書館にできるか心配。(本の流通センターだけになってしまうのでは?)
- ・バルテノンとタイアップした企画ができると良い。
- ・面積はあまり広げ過ぎない方がよい。(その分を地域館に、多層でない方がよい。)



グループF

- ・敷地内の芝生が気持ち良かったので残してほしい。
- ・駐輪場を設けてほしい。
- ・駐車場をアクセス良い位置に設けてほしい。
- ・バルテノンとの並木道が良い雰囲気だったので、並木道からの繋がりを検討してほしい。
- ・図書館から池を望めるようにしてほしい。
- ・レンガ坂とバルテノンを繋ぐ道を検討してほしい。
- ・図書館内の電子化してほしい。
- ・室内に樹木を植えても良い。
- ・今回のようなワークショップが行える部屋がほしい。



ワークショップ(第2回目のまとめ)

多摩市立図書館本館再整備

第2回 設計ワークショップ[まとめ]

Think 図書館でどんなことがしたいか考えよう

2019 5/11

●第2回ワークショップの流れ

- 1.はじめに・前回のおさらい
- 2.ゾーニングの考え方について
- 3.先進事例の紹介
- 4.グループワーク…図書館でどんなことがしたいか考えよう
- 5.発表
- 6.さいごに

●ゾーニングの考え方について

①計画地の位置づけ

公園という大きい入れ物のふちに図書館の敷地があり、公園、まち市民をつなぐ図書館



②アクセス・動線の整理

敷地の高低差や様々な方向からのアクセスを考慮し、車でのアクセスと歩行者等のアクセスを再確認



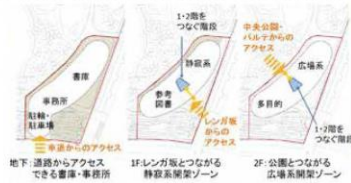
③階構成

中央公園とレンガ坂につながる階は開架ゾーン
車道からつながる地下階は思いやり駐車場・書庫・事務所ゾーン



④各階ゾーニング

- 地下階、1階、2階それぞれに主出入口を設ける
- 1・2階をつなぐ階段により、レンガ坂と中央公園の行き来ができる
- 地下階は駐輪・駐車場、事務所や書庫を配置
- 1階は静寂系開架ゾーンと参考図書を配置
- 2階は広場系開架ゾーンと多目的なゾーンを配置



●先進事例の紹介 (抜粋)

常世田 良 立命館大学文学部教授による図書館の機能やスペースに関して最新事例を紹介頂きました

- ①現代社会の変化に伴う図書館の変化 (メディアの変化、サービスの变化) 電子書籍等の普及により、図書館が商用データベースの無料提供やレファレンスサービスとして地域の問題を解決したり、ビジネス支援を行うなどサービスの多様化が見られる
- ②ラーニングcommons 市民の交流や学びを支援する場のこと。市民が交流したり図書館の資料を利用したディスカッションなどを行う場
- ③メーカースペース 3Dプリンター、カッターマシン、プログラミングなどができる場で、市民のビジネス支援にもつながる
- ④図書館の機械化・AI化 予約本の自動貸出やロボット導入による図書の仕分け、AIによるレファレンスによりサービスの向上や職員の負担軽減を図る



シアトル市立中央図書館 商用データベースを見る市民の方々



塩尻市立中央図書館 市民が交流したり学ぶ様子



シカゴ市立中央図書館 メーカースペース



安城市市立中央図書館 予約資料の24時間貸出

●グループワーク発表内容 (抜粋)

グループA

各階におけるサービス・機能配置と、図書館サービスへの提案について意見ができました

- 地下は、採光通風条件を考慮した職務環境。
- 開架書庫を公開書庫としてはどうか。
- 静寂系フロアに高齢者の居場所を計画。
- 生活や法律相談等について、行政と連携した相談コーナー(行政サービスとして、市政に直接声が届く環境)
- 広場系フロアに中高生の小さなラーニングcommons。その近くにプログラミングやアニメ・動画・ゲーム制作ができるメーカースペース。
- 24時間ブックポスト。
- ボランティア案内、就労支援情報を得られる図書館。
- 職員の名札にサービス可能な専門分野やニックネームなど親近感を感じられる工夫。



グループD

多目的利用に対する部屋やそれらに対応できるように図書館サービスについて意見ができました

- 本の空間以外に、音楽が流れたり、演奏会、講演会・ワークショップができるスペースなど多目的に利用。
- 中庭読書室など公園の森とつながるような図書館。
- 24時間使えるきれいなトイレ。
- レンガ坂側も正面であるのでにぎわいが見えると良い。
- 子どもに対してサポートができる司書など、子どものレファレンスサービスや、レファレンスを分散配置してサービスを充実化。
- 展示スペースも兼ねたスペースで移動空間を楽しむ。
- 緊急時や災害時の対応(例えばAEDなど)ができるようにする必要がある。
- 監視カメラで本の盗難防止。



グループB

公園とのつながり、図書館サービスの拡充について意見ができました

- 公園と図書館が一体利用できる仕掛け(例:図書館で図鑑借りて公園を散策など)
- ボランティア・市民活動は、だれもが活動内容を感じられ、飛び入り参加などしやすい雰囲気にしてほしい。
- CDの充実、映像アーカイブ等の有料コンテンツも図書館で無料で見られるサービス。
- お掃除ロボットの導入をして、日々のお掃除と共に市民のプログラミング学習の教材にも活用できる。
- フリー-Wi-Fiの利用やタブレットの貸出サービス
- 図書館「本館」よりも「総合」図書館と考えた方が理想としている図書館像に合う。



グループE

利用者の観点と運営側の観点からサービス・機能とスペースについて意見ができました

- 職員が働きやすい動線、拡張性のある書庫を確保する。
- ICカードや携帯などICT化を取り入れたサービス。
- 課題解決できるボランティアのためのスペースやレファレンスカウンター。
- 運用の負担を考慮した開館時間延長の検討。(地域館や返却ボックスの兼ね合いを考慮した柔軟性のある計画。)
- 荷物を置けるロッカーの設置やベビーカー利用者への配慮。
- 静寂読書室や読書会室。
- 天体観測ができる屋上。
- 市民活動、講演会、子どもの読み聞かせ、大人の読書会ができるスペース。
- ラーニングcommons、研究者用のデータベース導入。



グループC

図書館全体のサービスや機能についての提案と職員の働く環境の向上について意見ができました

- 屋上緑化や太陽光発電など屋上を活用した省エネ化。
- 学童保育の代わりなど地域課題を解決できるサービス。
- 広場系フロアに展示・講演・お話し会ができる多機能な市民活動室、みんなで学べるスペースの配置。
- 子どもが利用しやすく楽しめる工夫。
- 新着本やおすめ本のわかりやすい配置。
- 静寂系フロアと広場系フロアに対する音の配慮。
- 働く人のための24時間の予約本貸出サービス。
- 地階に自然採光を取り入れたり、職員の休憩室や働く環境を充実させることで、市民サービスの向上につながる工夫。



グループF

様々な利用者の立場から図書館サービスの充実化を図る意見ができました

- 駐輪場は全フロアに、オートバイの駐輪場も確保。
- AIを使ったレファレンスや、分野別(ビジネス、医療、地域など)のレファレンスカウンターの設置。
- PCが苦手な人(情報弱者)に対するサービス。
- 同じ本が好きな人と交流出来るシステム。
- 託児所(利用者・職員向け)を設置希望。
- 公園利用者向け開館時も24時間使えるトイレ。
- 図書館利用時にペットが待っているスペースの確保。
- 屋上で星が見えるスペースに宇宙の本をおくなど、スペースと情報をつなげる配架。
- 外国人の利用を見据えた翻訳機の設置などの工夫。
- 新聞保存を電子(データベース)化して省スペースに。



ワークショップ(第3回目のまとめ)

多摩市立図書館本館再整備

第3回 設計ワークショップ[まとめ]

2019 6/8 土

Design

図面と模型をみよう

●第3回ワークショップの流れ

- 1.はじめに・前回のおさらい
- 2.これまでのワークショップ意見を反映した図面と模型について
- 3.グループワーク…図書館の使い方を考えよう
- 4.発表
- 5.まとめ
- 6.さいごに

●これまでのワークショップ意見を反映した図面と模型について

前2回のワークショップで、敷地周辺とのつながりや図書館の機能やスペースについて意見交換してきました。その内容を受け、配布資料の図面と模型にてまとめた案を説明しました。

※配布資料1~4を参照

●グループワーク発表内容(抜粋)

図書館を実際使う立場の市民として、どのように使うかをイメージしながら意見を出し合い、各グループごとに発表を行いました。

グループA 静寂系・日常系・広場系のゾーン特性に合わせて必要な機能やサービスとスペースについて意見ができました

- ・静寂系の空間では、個人生活の課題について相談や調べ物ができるよう、周りに気兼ねなく勉強(自習)する空間、新聞をあげる・たくさん資料を上げたりできる机がほしい。
- ・日常系の空間では、市民活動のスペース、ぶらっと立ち寄り場所として、ちょっとした打ち合わせやおしゃべりがしたい。
- ・広場系の空間では、地域の課題を話し合う場所、映画会、講演会、コンサートができるような空間がほしい。
- ・子どものお話し会をする場所は仕切られて、集中できる場所にしたい。



グループB 多様なイベントの開催や多様な学習環境をイメージし、どのようなサービスや空間がほしいかという観点で意見ができました

- ・多様なイベントが開催できるよう、開放的な空間から閉鎖的な空間など様々な空間があるとよい。
- ・イベントコーディネーターなど、サポートをしてくれる職員がいるとよい。
- ・イベントに合わせたテーマ配架など、図書館との相乗効果が得られるように。
- ・多様な学習環境として、様々な学習スタイルに応じた家具や、開館時間外の朝、夜にもラーニング commons の開放があるとよい。
- ・開架書庫の本の見える化で借りを人を増やす、「開かれた書庫」がほしい。



グループC 従来の図書館サービスを基本とし、高齢者や子どもへの具体的なサービス、大人数でのイベントをイメージした意見ができました

- ・他都市の図書館との連携やレファレンス機能の充実を図ることで図書館に来れば個人の調べもの、知りたいことがわかるようにしたい。
- ・本を探す、本と出会う楽しみを市民間で共有できる図書館にしたい。
- ・静かな空間で、高齢者がゆったりと過ごせたり、オーディオ文庫など、どんな人でも本を楽しめる機能やスペースがほしい。
- ・絵本の原画展など図書に関連した展示スペースがほしい。
- ・映画上映会など大人数でイベントする場所や設備を設けてほしい。
- ・絵画のレプリカなど、生活が豊かになるものの貸出をしてほしい。



グループD 多様な人数での集まりを想定した活動へのサポートや公園・レング坂とのつながりを意識した意見ができました

- ・静寂系では、仕事ができる仕切られたスペースやそれができるwi-fi、プリンタなどの設備や、調べ物をサポートしてくれる司書やデスクがほしい。
- ・日常系では、目的がない人も来ることができる場所でもよいし、貸し本棚や展示・映像投影など、地域や個人の情報を発信できるスペースがあるとよい。
- ・お話し室は赤ちゃんは開放的な空間で、幼児~中学生は仕切られた空間がよい。
- ・広場系では、イベントができる場所(一箱古本市など)がほしい。
- ・レング坂・公園と図書館とのつながりに配慮してほしい。
- ・(配布資料のゾーニング案について)公園と図書館が直接対峙して分かれているような印象を受けたので、公園と図書館の中間領域を大切にしてほしい。



グループE 個人の課題や地域課題を解決するような活動を想定し、その活動に合わせたスペースや機能について意見ができました

- ・静寂系ゾーンでは、起業のための資料集め、病氣・法律の悩み解決をしたり地域資料・データベースを活用した研究・課題解決ができることよい。
- ・日常系ゾーンでは、高校生や高齢者のお金のかからない居場所としたり、5~6人で集まって勉強会や読書会などができるスペースがほしい。
- ・広場系ゾーンでは、子どもとおはなし会や読書テラスで読書したり、地域グループの討議・学習、打合せ等に利用できるスペースがほしい。
- ・その他、絵本の原画や布絵本の展示会開催や、起業のヒントとなる講師のプレゼンテーションや短時間のプレゼンテーションを行う空間があるとよい。



グループF 「課題解決」「活動・交流」「運営・ソフト」の観点で意見をグルーピングし、どのような機能やサービスが必要かをまとめました

- ・課題解決として、本を探だけでなく生活での困ったことの解決方法を見つけたり、友達をつくるなどの多様な活動ができるような図書館だとよい。
- ・活動・交流として、ボランティアの情報交換のできるスペースや、グループワークを行い、地域の環境地図や問題解決地図をつくり、トークセッションができることよい。
- ・クラシックなどの生演奏を聞きながら読書したい。公園へ遊びに来て図書館でひとやすみしたい。
- ・運営・ソフトでは、図書館のホームページの充実や、専用アプリ等が出来たらよい。



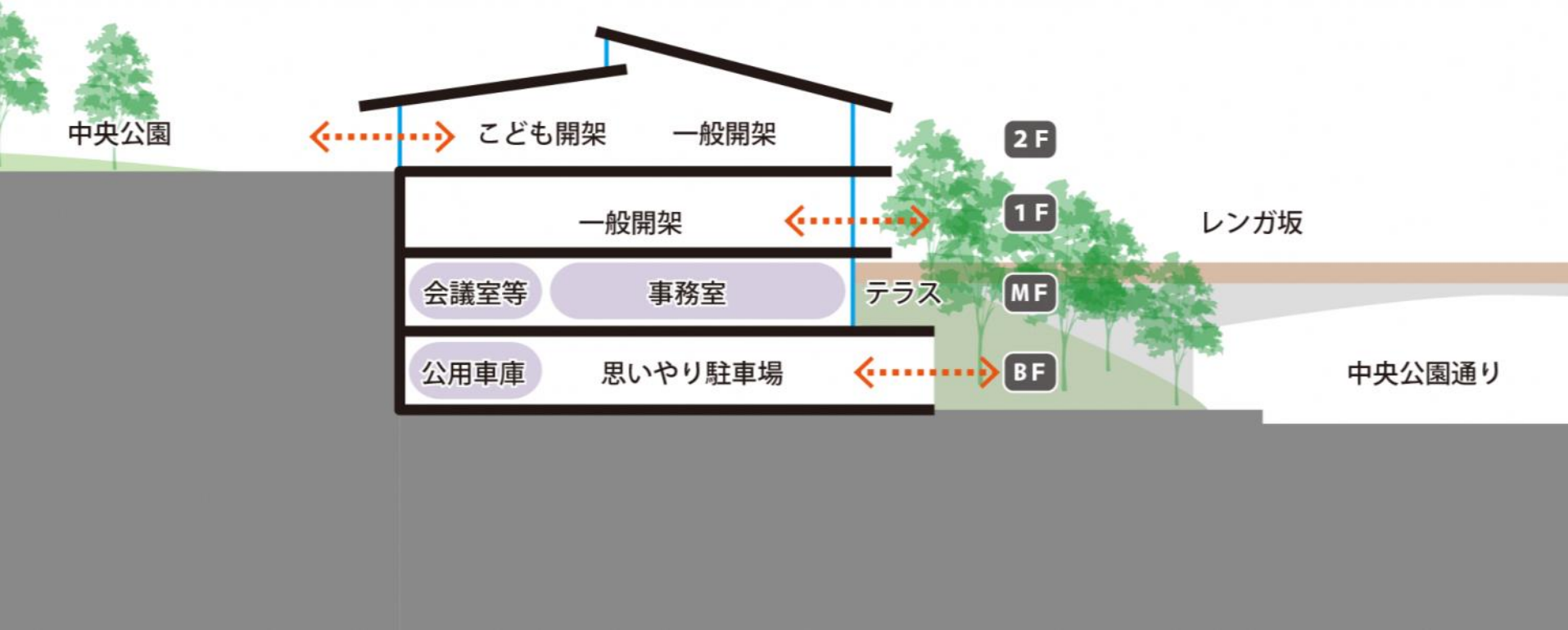
●まとめ(抜粋)

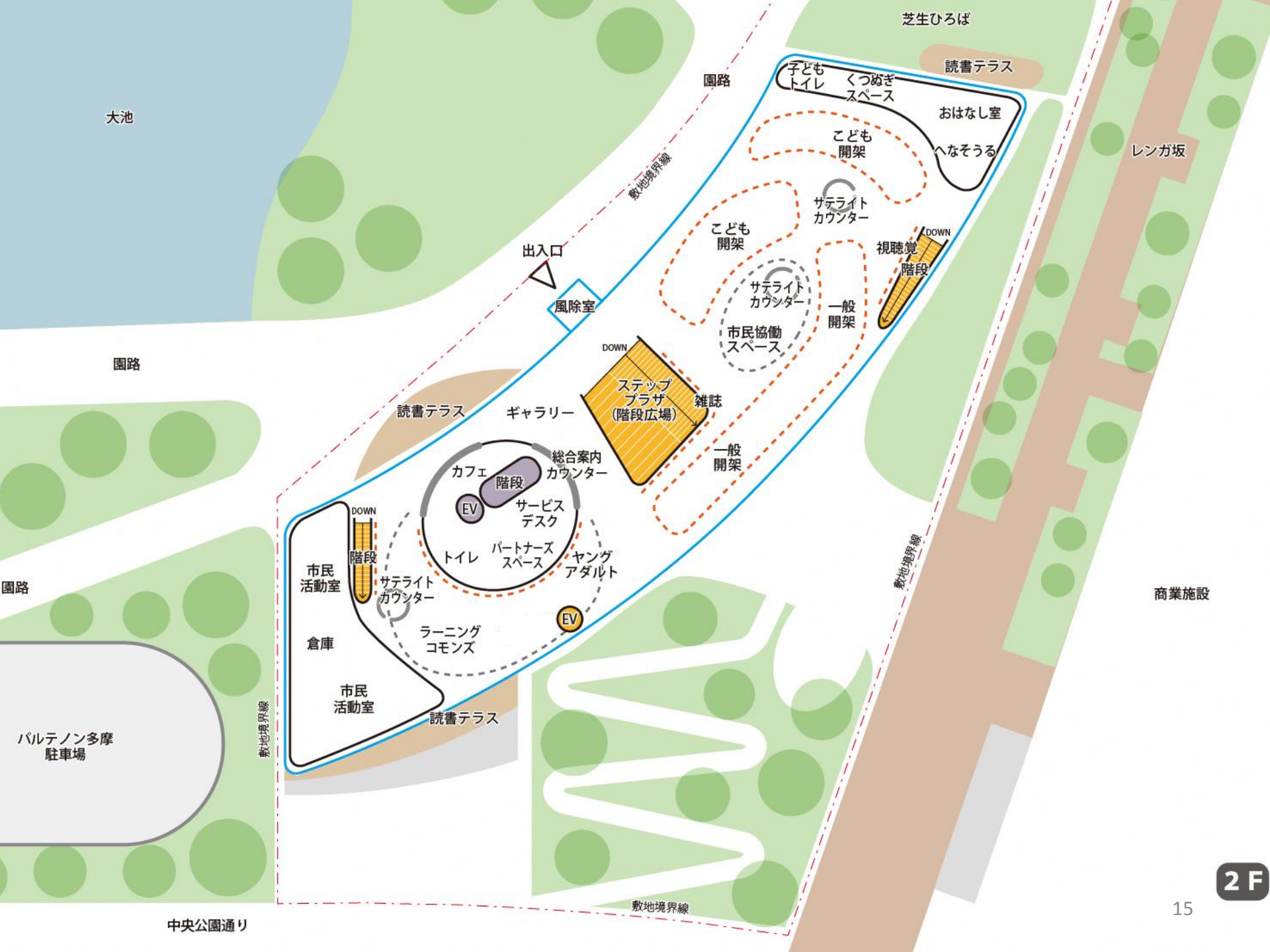
常世田 良 立命館大学文学部教授にまとめとして総括コメントをいただきました

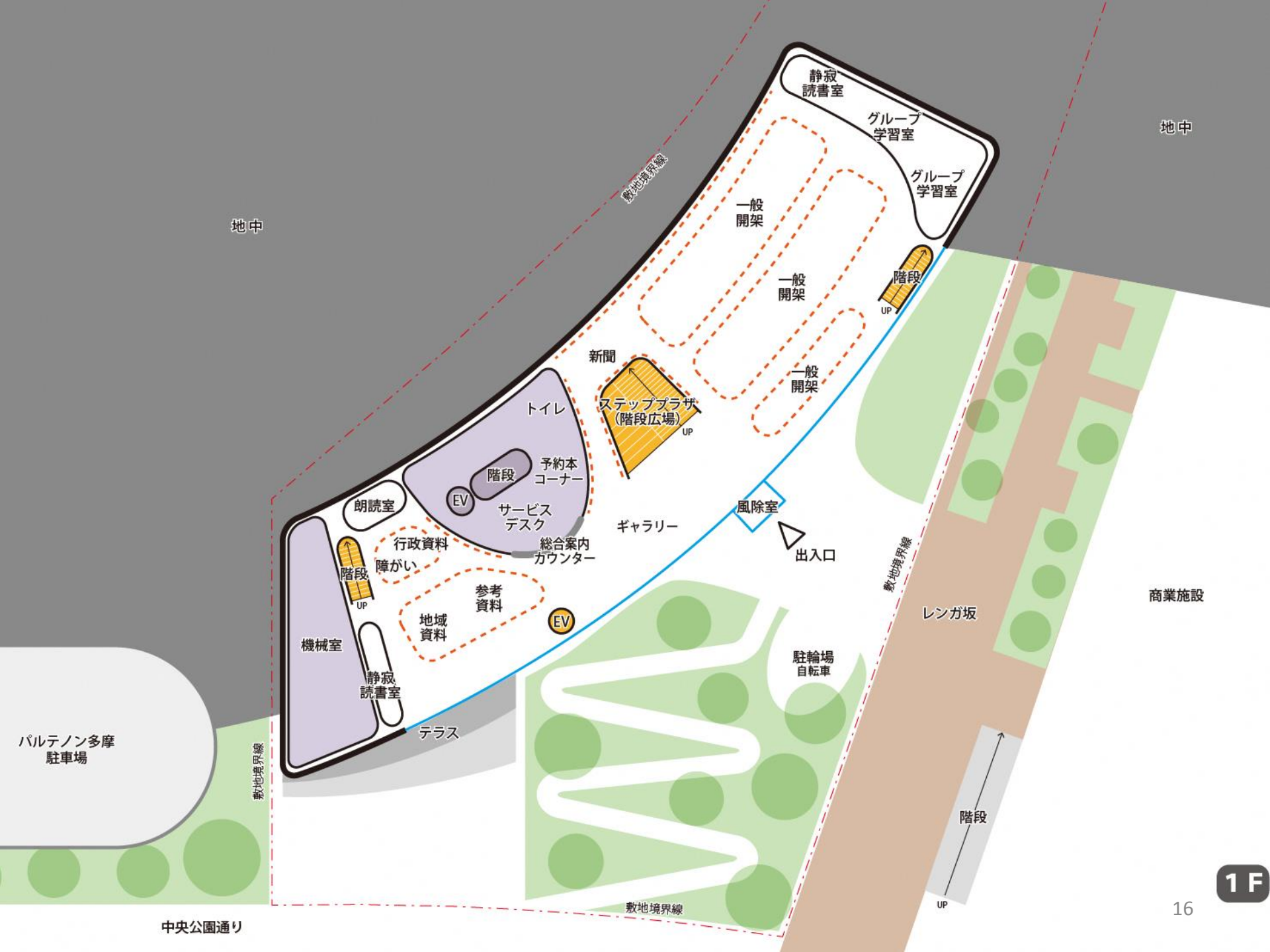
- ・多摩市民は、図書館をよく使っているため、図書館に対する理解が高いと改めて感じた。
- ・図書館は開館してからが始まりで、使いながら「図書館を育てていく」ことになる。
- ・市民の方々は、高い理解度を活かして、エヴァンジェリスト(導いていく人)として、知的ボランティアをしていく覚悟をもってほしい。
- ・現状の計画では、従来型の図書館のサービスやそれに伴うスペースに心配はいらないが、本日の発表にもでていた、単なるサークル活動ではなく、地域活動を行う多様なスペースをつくることよい。
- ・また、ラーニング commons のスペースが狭い印象もあるので、書架の間にラーニング commons をつくり、その部分を市民が利用していくことで図書館の運営も空間も育てていくことが大切である。
- ・2階は広場系開架ゾーン、1階は基本的に日常系開架ゾーンで、奥に行くほど静寂系に近づくといった、空間にグラデーションのある図書館になりそうである。
- ・広場系だけでなく日常系に近い空間や、日常系だけ静寂系に近い空間をアメーバ的に自由に使うことで、機能やサービスもなじんでくる。
- ・高度なデータベースを使いこなしたり、ラーニング commons で地域の課題を解決していくきっかけをつくるなど、従来の図書館サービス+αの使い方ができる図書館になると思われる。



● 階構成







地下

地下

静寂
読書室

グループ
学習室

グループ
学習室

一般
開架

一般
開架

一般
開架

階段
UP

新聞

ステップブラザ
(階段広場)
UP

トイレ

予約本
コーナー

階段

EV

サービス
デスク

総合案内
カウンター

ギャラリー

風除室

出入口

朗読室

階段
UP

行政資料
障がい

参考
資料

地域
資料

EV

機械室

静寂
読書室

テラス

駐輪場
自転車

レンガ坂

商業施設

パルテノン多摩
駐車場

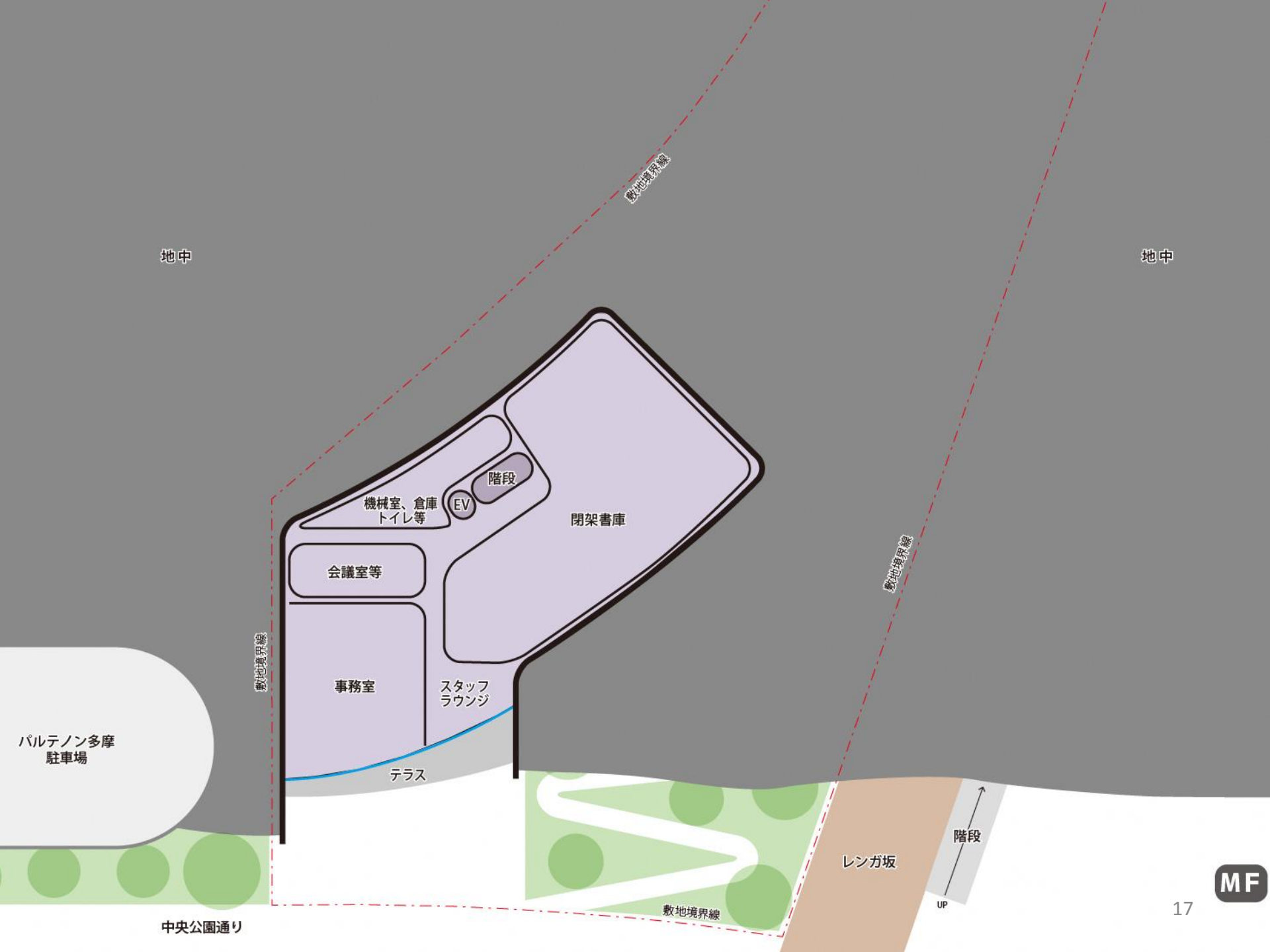
敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

階段
UP

中央公園通り



地中

地中

敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

パルテノン多摩
駐車場

機械室、倉庫
トイレ等

EV

階段

閉架書庫

会議室等

事務室

スタッフ
ラウンジ

テラス

レンガ坂

階段

UP

中央公園通り

地中

地中

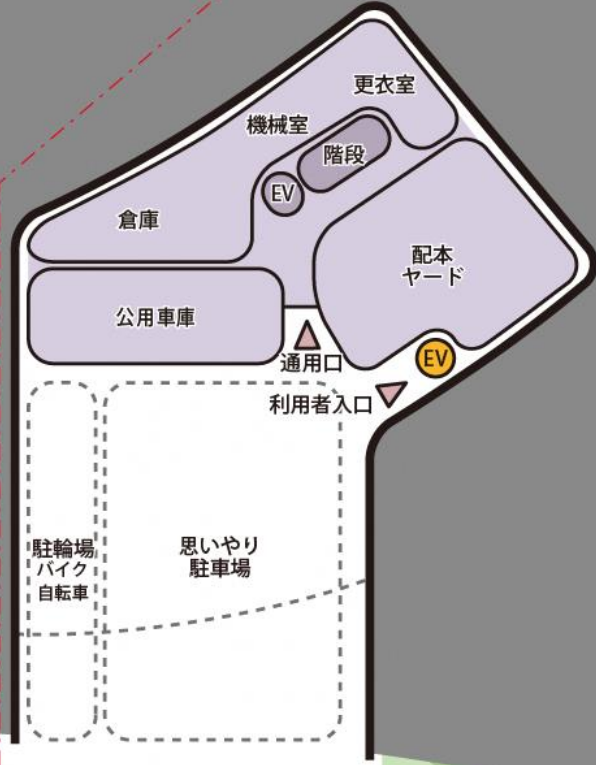
敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

敷地境界線

バルテノン多摩
駐車場



中央公園通り

△
自転車入口

△
自動車入口

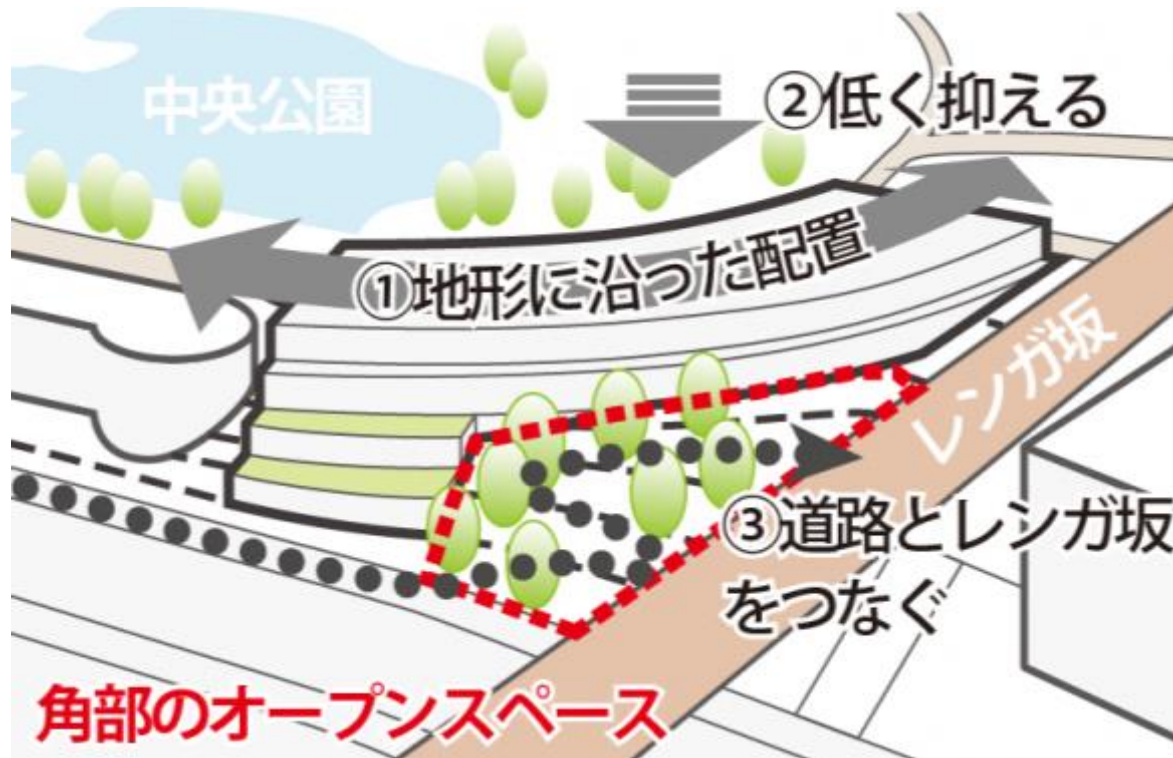
△
歩行者入口

BF

ワークショップの主な意見

●配置について

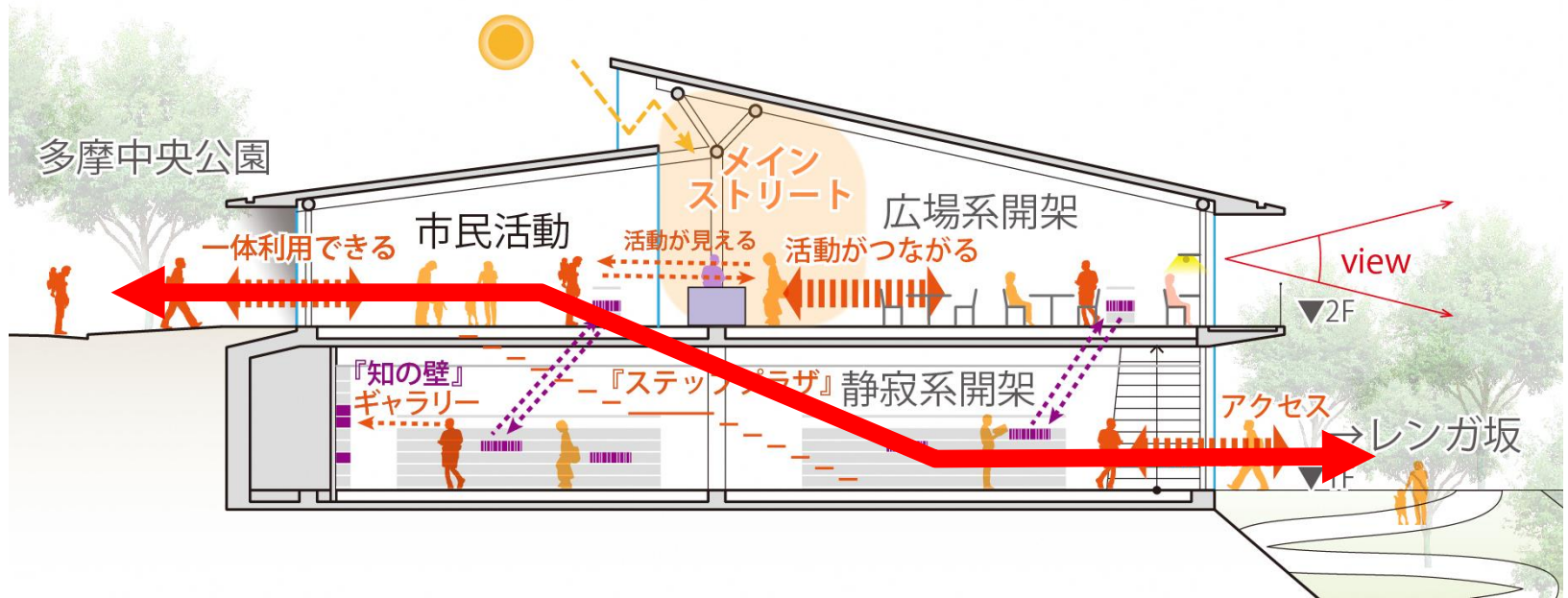
意見：おわんの縁のように、公園外周の緑は残してほしい
現在の地形・緑を保つ形の建物としてほしい



提案：建物は公園に沿わせ、地形に馴染む形とします
「公園の縁」である角の緑は、明るい緑道とします

● 周辺環境との調和について①

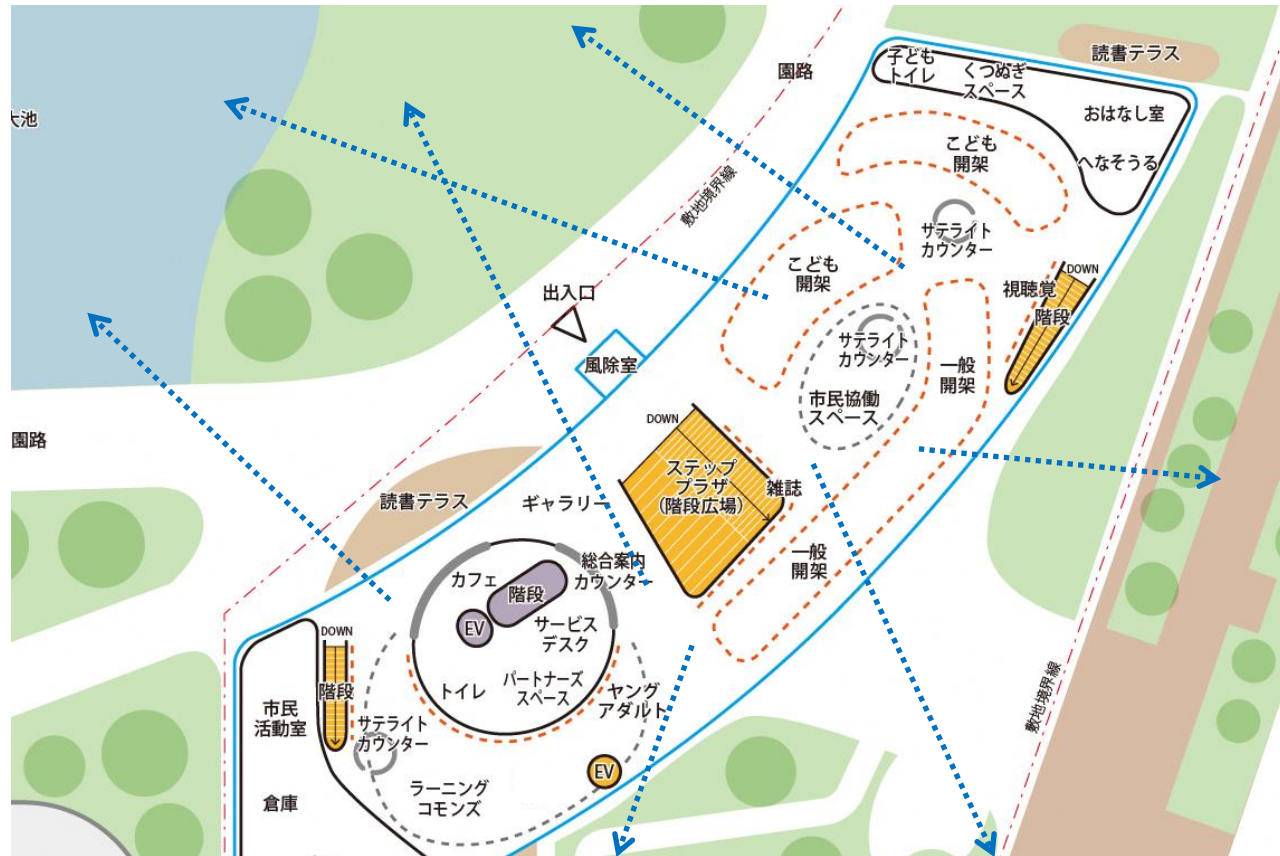
意見：公園から見える建物は低く、木の中に馴染ませてほしい
敷地内の高低差を解消してほしい
レンガ坂と公園、両方からアクセスできるように



提案：公園から見ると、1階建ての建物に見える計画とします
高低差を解消する階段を施設中央に設け、レンガ坂、公園
どちらからもアクセスしやすい計画とします

● 周辺環境との調和について②

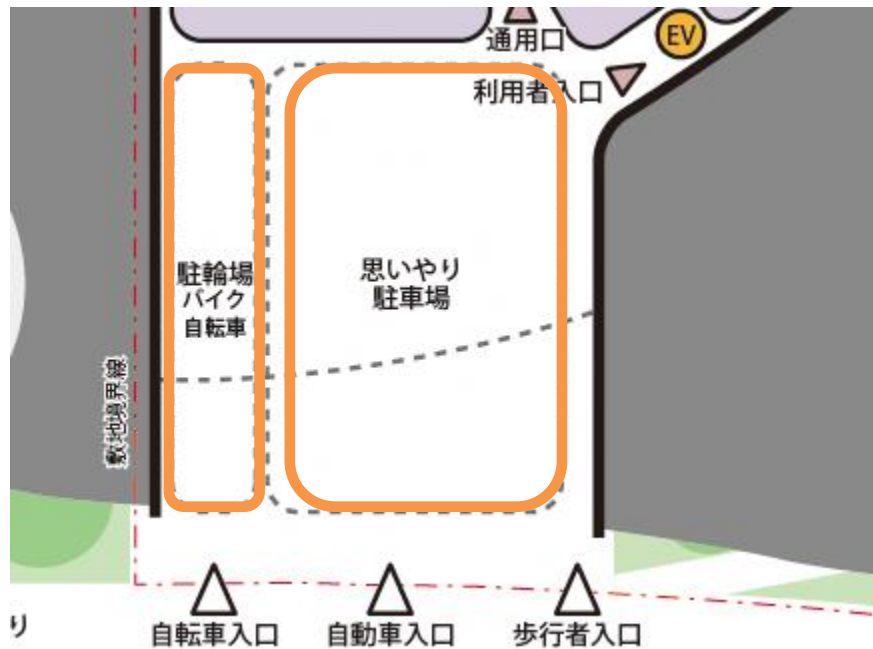
意見：公園で緑陰読書がしたい
施設内から公園や池が見通せる、開放的な施設



提案：公園に面した2階の壁はガラスとし、どこにいても公園の
雰囲気を感じられる場所とします

● 周辺からのアクセスについて

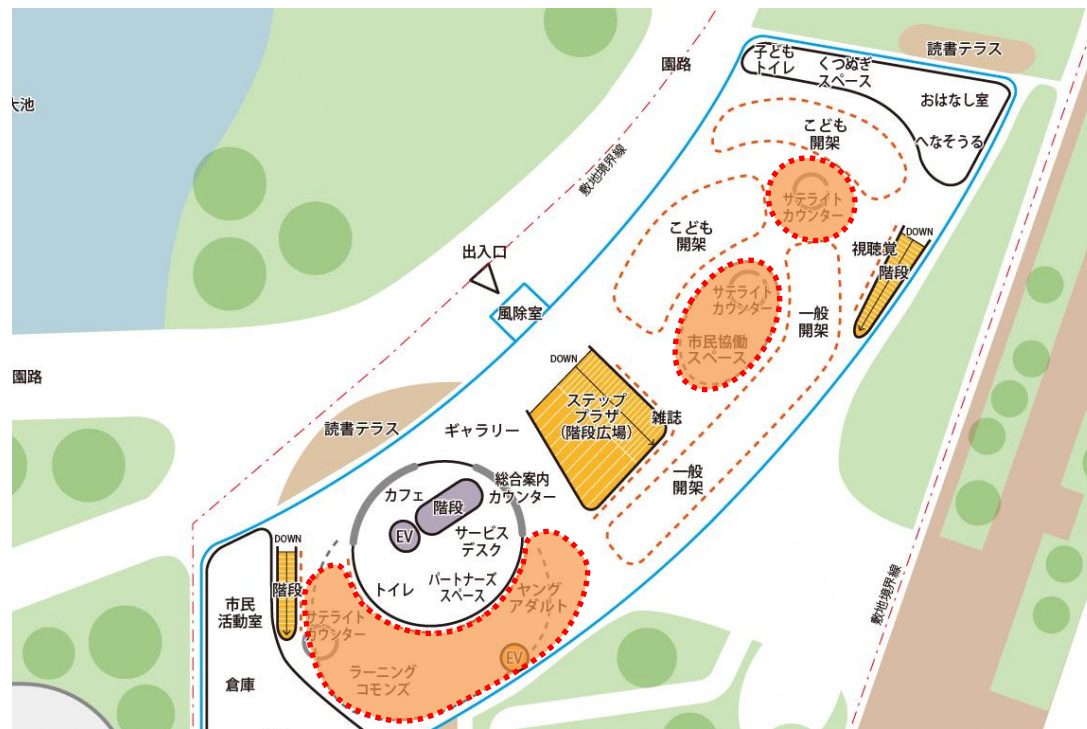
意見：駐車場をつかってほしい
駐輪場を各階につかってほしい



提案：車いす駐車場を敷地内に確保します
一般利用者の駐車場はパルテノンを想定し、アクセスのしやすさに配慮します
駐輪場は、BFと1Fに計画します

●内部について①

意見：ラーニングコモンズが複数ほしい
児童向けラーニングコモンズもほしい
世代間の交流、子どもと大人が集える場所がほしい



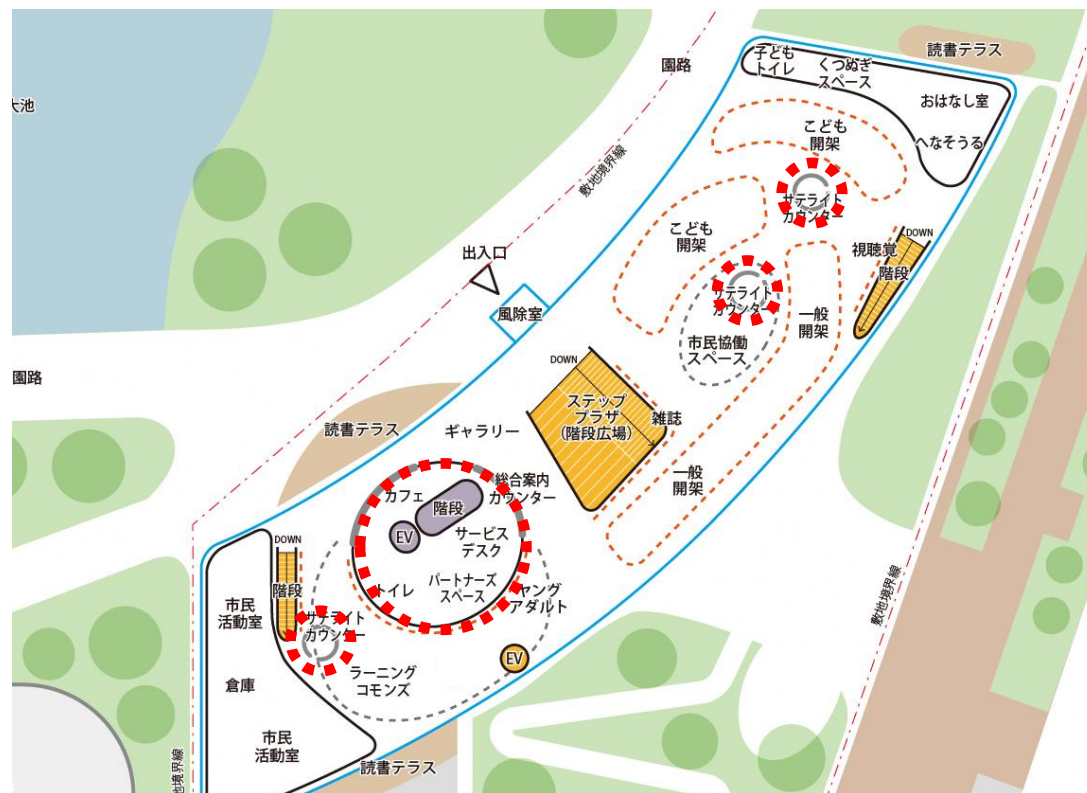
提案：ラーニングコモンズを複数(大・中・小と異なる規模で)計画
子ども開架と一般開架に面した位置にラーニングコモンズ
を設け、子どもと大人が集える場を計画します

●内部について②

意見：レファレンスサービスの充実

レファレンスサービスの分散化(テーマ別など)

市民が職員に声をかけやすい環境づくり

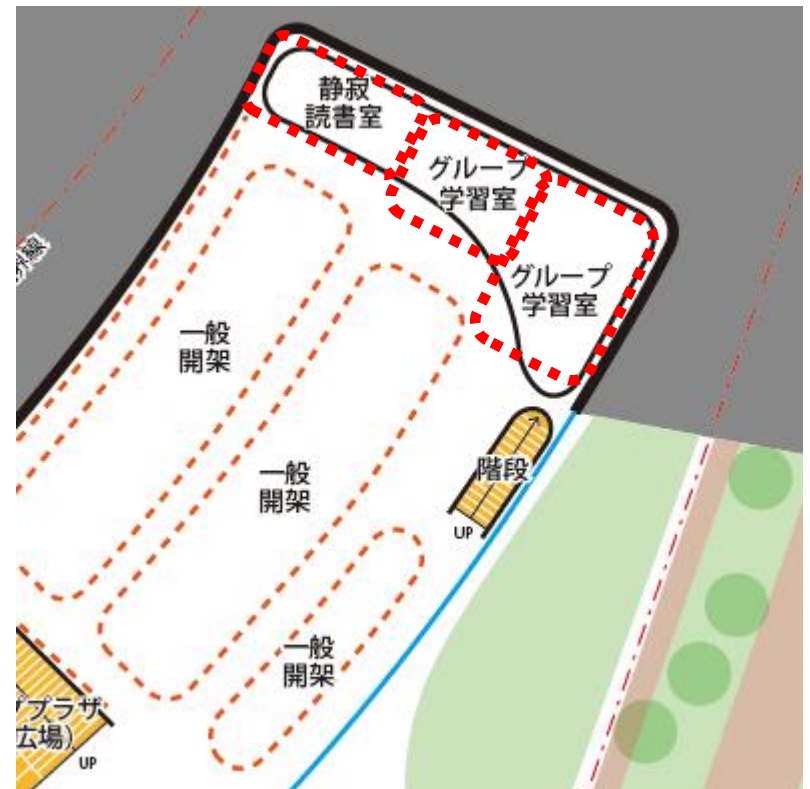
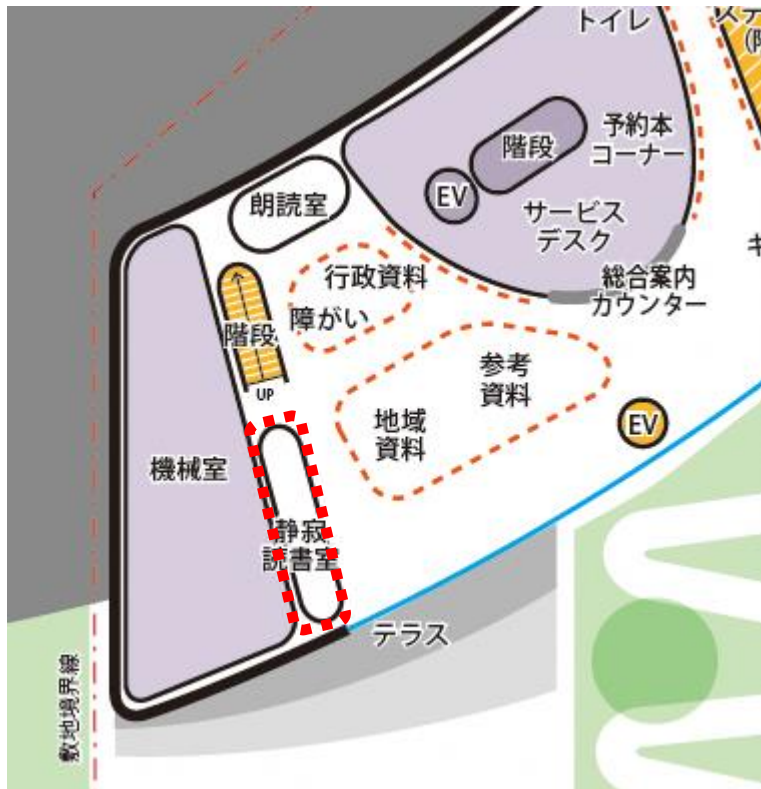


提案：サテライトカウンターを分散配置します

サテライトカウンターでは、レファレンスサービスを行います

●内部について③

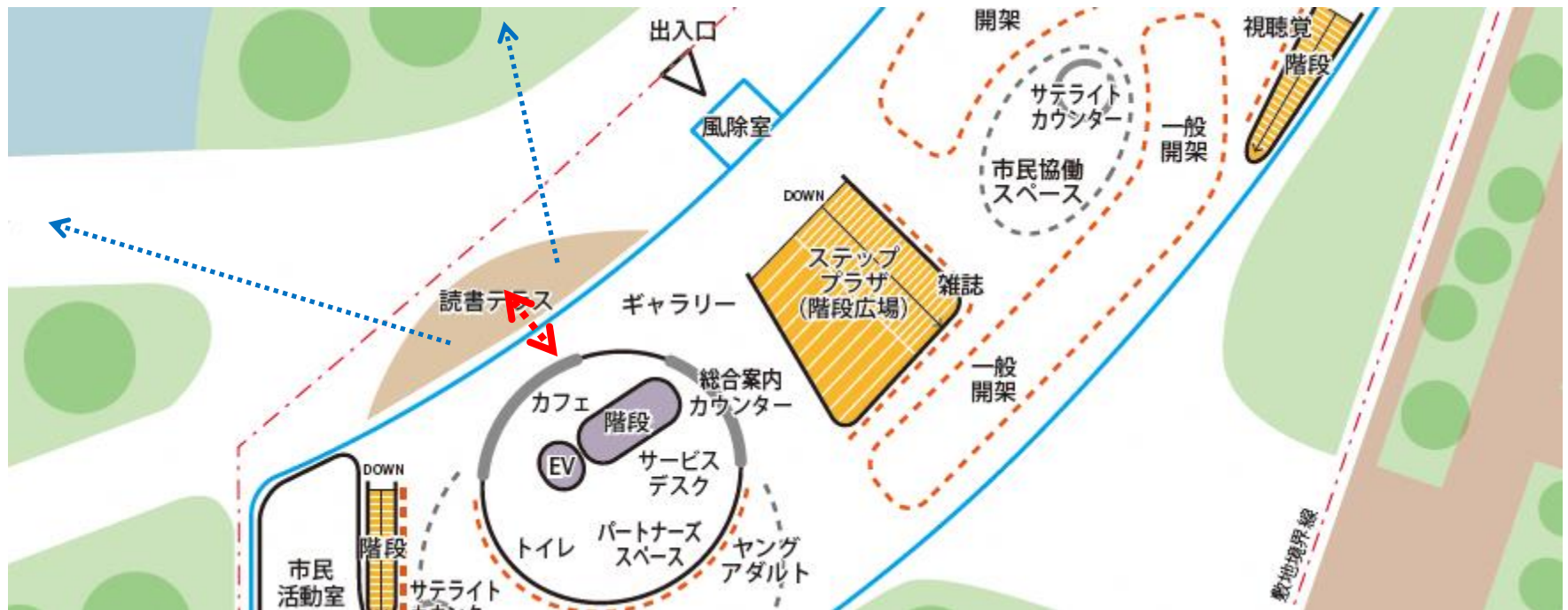
意見：静寂読書室がほしい
グループ学習ができる場所がほしい



提案：静寂読書室を分散配置します
グループ学習室を複数計画します

●内部について④

意見：屋根付きのテラスや休憩スペースがほしい
屋外で貸し出ししていない本を読みたい
オープンカフェがほしい



提案：公園に面した位置に読書テラスを計画します
屋根付き、カフェに面しており、読書をしながら飲食できる
場所とします

●内部について⑤

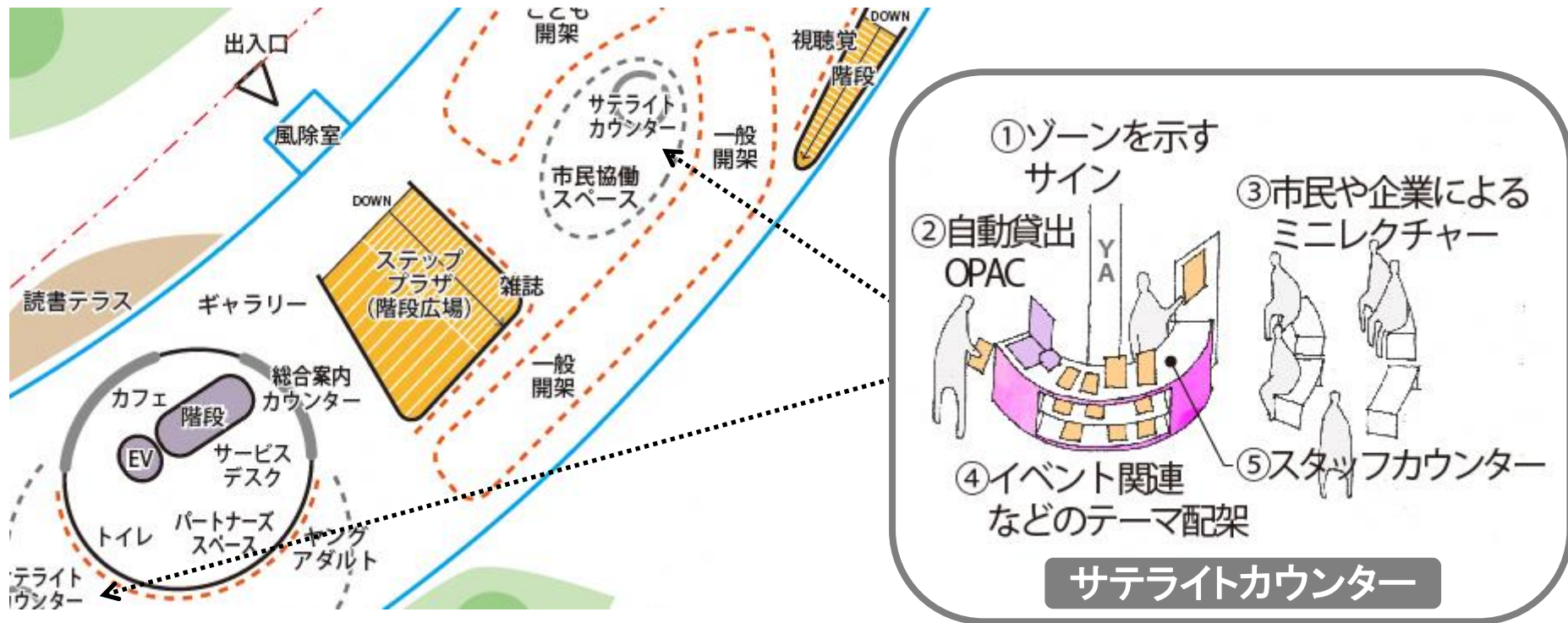
意見：芝生ひろばで「青空お話し会」をやりたい
おはなし室は仕切られるようにも、開放的にも使いたい



提案：おはなし室を芝生ひろばに面して計画し、中と外が一体的に使えるようにします
おはなし室は閉じた状態にもできるつくりとします

●内部について⑥

意見：ボランティアが常時つかえるスペースがほしい
ボランティア活動がしやすいようにしてほしい



提案：パートナーズスペースとして、拠点をつくります
市民協働スペースやサテライトカウンターなどを使うことで
様々な活動ができるようにします

● 内部について⑦

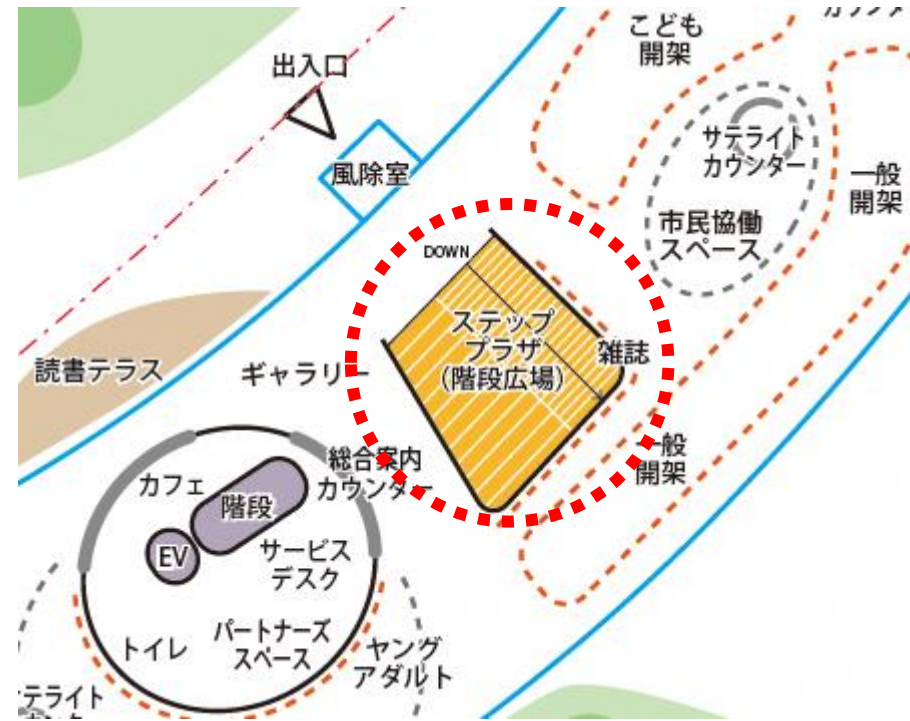
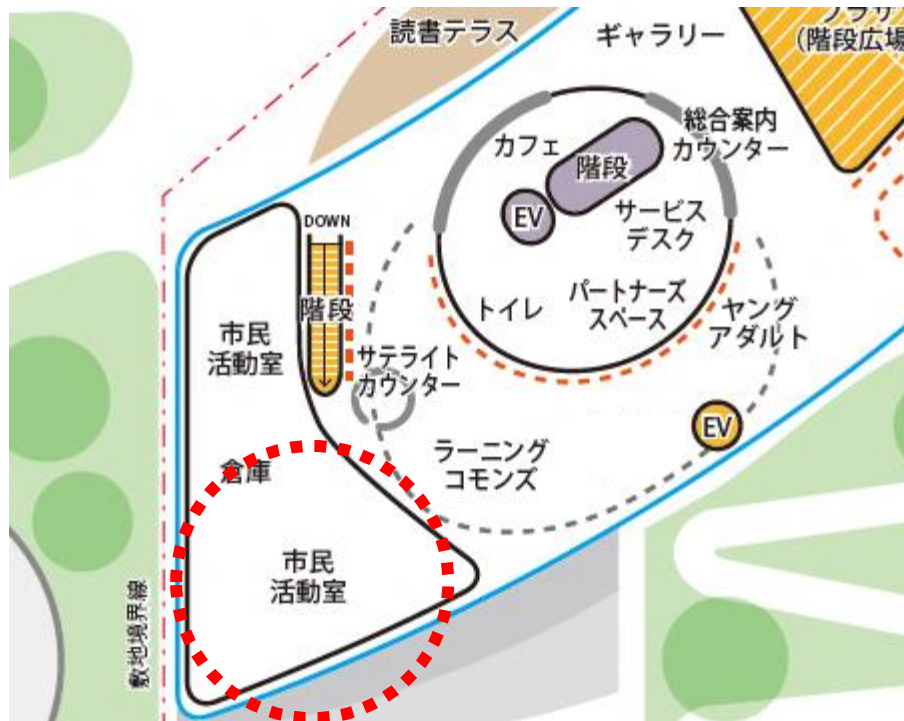
意見：展示スペースがほしい（絵本の原画展など）
ボランティア活動や地域活動の情報交換ができる場



提案：エントランスホールがギャラリーにも使えるようにします
絵本コーナーに面して展示スペースを併設した「へなそうる」
をつくるなど、本と展示が同時に触れられる場所とします

●内部について⑧

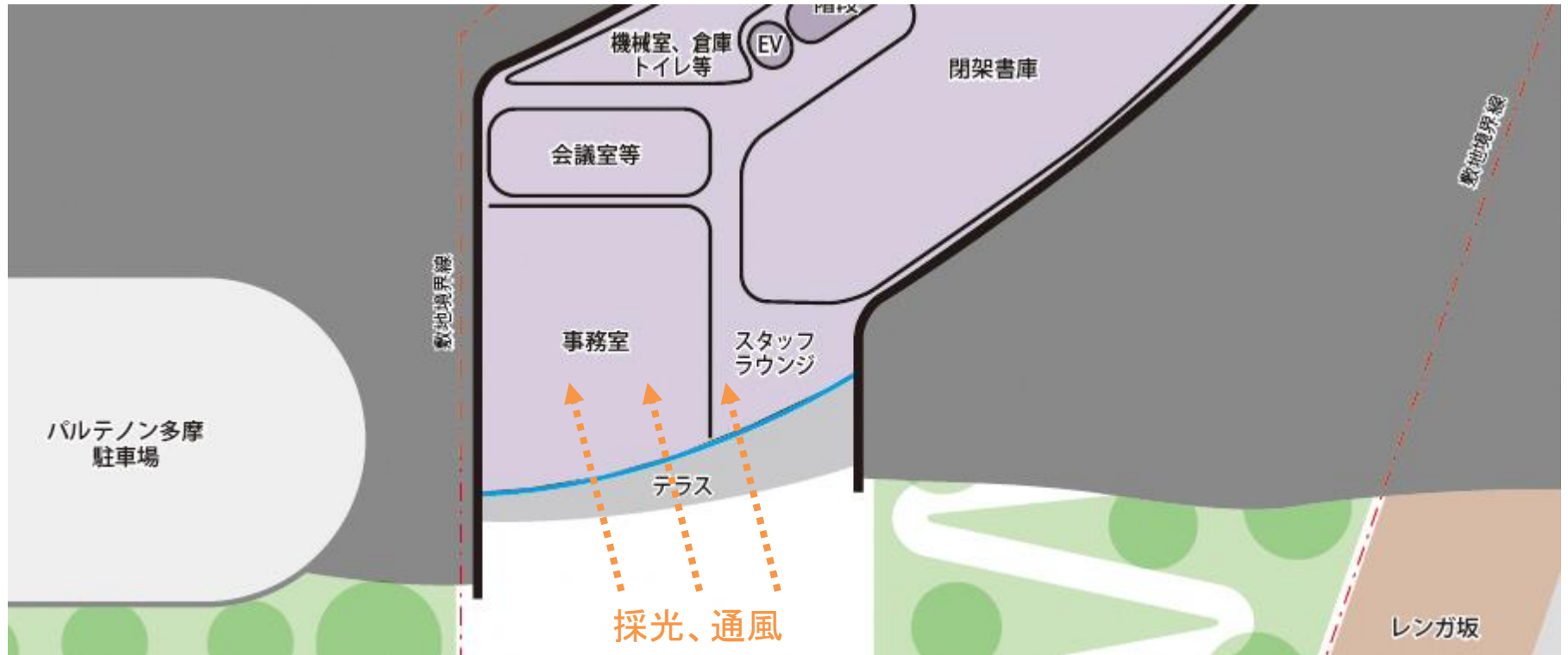
意見：100人くらいが講演会等で集えるスペースがほしい
演奏会など多目的に使う場所がほしい



提案：100人程度が集まれる場所として、
部屋として使える「市民活動室」
オープンな場所として使える「ステッププラザ」をつくります

●内部について⑨

意見：職員の働く環境の向上
職員がリラックスできる場所の確保



提案：地下を2層とすることで、事務室への採光を確保します
スタッフ用のラウンジを設け、よりよい環境で休憩できるよう
配慮します